

木々の生長と15種類の野鳥観察!

●春日部地区浦高会9年目の野鳥観察会!

2月3日(日)は「節分」、「恵方巻き」を食した人も多いと思いますが、私はお菓子の家スワンにて「恵方巻きロール」を頂戴しました。イチゴなどのフルーツと生クリームを竹炭を練り込んだロールで巻いたもので、製造課程では竹炭で白衣が真っ黒になってしまったそうですが、見た目は正に海苔巻きのように美味しいケーキでした。



そんな美味しいケーキを食して、午後2時40分に春日部地区浦高会の野鳥観察会に向かいました。今回のコースは、東武アーバンパークライン「藤の牛島駅」に集合して、大落古利根川を渡り、川久保公園の「春日部麗しの杜」にて木々の生長を確かめてから古利根川沿いの遊歩道を北上して川辺の野鳥を観察し、最後は「ぷらっとかすかべ」にてお茶を飲んでいただくというコースでした。



川久保公園エントランスにて



「春日部麗しの杜」の成長を見る



木の上にはカラスの巣が



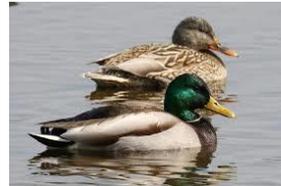
10年目で成長している木々

午後3時、10名の会員と埼玉県生態系保護協会春日部支部の三好さんと輪島さんが揃い、観察会がスタートしました。生態系保護協会の皆さんとは、2011年1月の野鳥観察会からガ

イドをお願いしており9年目のお付き合いですが、毎回、さまざまなことを教えていただき感謝しております。〔鳥の写真はホームページより引用〕

最初に観察したのは、「キジバト」です。別名はヤマバトとも呼ばれ、お寺の境内などで見るドバトとは羽の色がことなりますね。との解説をなるほど伺いました。次が川の中を泳ぐマガモです。

「皆さんが食べる合鴨は、マガモとアヒルの交配種です。このマガモを昔は食べていたのだと思いますよ」とのお話も…。



カモたちが川を泳いでいるのは休んでいるためとのこと。陸に上がると猛禽類に襲われるので昼は川の中で泳ぎ、そして夜になると近くの田んぼなどに行き餌をつつくそうです。逆に猛禽類は夜には行動しないそうです。



この後は、古利根川をゆっくりと北上しながら野鳥を楽しみました。約4キロ、1時間強の間に、ヒドリガモ、コガモ、カルガモ、カワウ、カイツブリ、オオバン、セキレイ、タシギ、イルカチドリ(写真右)、ヒヨドリシラサギ、ダイサギ、セグロカモメ、ユリカモメ、ムクドリ、ハシブトガラスなど15種類を超える野鳥を観察することができました。イルカチドリを見ていた三好さんから「千鳥足は、チドリが見ているようなトトトツと歩いたかと思うと、急に向きを変えてトトと歩く姿から付けられたので、そんな歩き方をしているでしょう」と言われてよく見るとなるほどですね。私が酔っ払うとこんな歩き方をしているのでしょうか??



午後4時15分、無事に「ぷらっとかすかべ」に到着して本日の野鳥観察会を終了しました。